

白紙

サガン鳥栖の運営会社

レジャー施設経営へ 佐賀市の国民宿舎買収

「Jリーグ」部のサガン鳥栖の運営会社「サガンドリームス」は四日、佐賀市三瀬村の旧国民宿舎「湖群荘」を買収し、スポーツ関連のレジャー施設や地産地消型のレストランの経営に乗り出す方針を明らかにした。

同社が井川幸広社長が出資する新会社が運営。旧湖群荘を改装し、健康とスポーツを核とした「サガン・トレジャーランド」（仮称）や、地産地消型のレストラン「さがんミッセ」（同）などを整備する。鳥栖の選手らによるサッカー教室や軽運動教室も開く。

同社は「サガン鳥栖のファンイベントなどで培った集客ノウハウや知名度を生かし、自治体と連携して地域の活性化を図りたい」としている。

旧湖群荘は、一九六二年に開館。宿泊客数の減少で、二〇〇四年十一月に閉鎖された。同市の売却先公募に対し、二社から打診があり、「事業視察が地域貢献につながる」として、同社が選ばれた。買収金額は千数百万円の見直し。